

令和5年度白河市行政改革推進委員会第3回会議 会議録（要旨）

日時	令和6年2月2日（金）10時00分～12時00分
場所	201会議室
出席者	委員7名 小林 知二委員長、徳田 芳江委員、十文字 由紀子委員 鈴木 富幸委員、井上 竜一委員、和知 玲子委員、 金内 貴弘委員
事務局	3名 田崎課長、鈴木係長、大森副主査
内容	<p>1 開会</p> <p>2 委員長挨拶</p> <p>3 議事</p> <p>（1）第2回行政改革推進委員会での後日回答分について 【事務局より説明】</p> <p>○委員 市営住宅を定期的に訪問しているが、高齢で足腰の弱い方が上の階に住んでいることもある。条件があるとはいえ、上の階から下の階に移れることもあるのであれば、そういった方もいると担当課と情報共有してほしい。</p> <p>○事務局 建築住宅課に伝える。しかし、簡単に移動できてしまうと下の階ばかり埋まってしまうことも考えられるため、その点は注意していく必要があると思われる。</p> <p>（2）第2次行政経営改革プラン重点戦略進行管理シートの中間報告 【事務局より説明】</p> <p><u>No.1「人材育成と職員の意識改革」について質疑応答</u></p> <p>○委員 NOMA研修とは外部から講師を呼ぶ研修か。</p>

○事務局

東京都にある日本経営協会に出張して受講する研修となっている。内容としては固定資産の評価方法など専門的なものになっている。

○委員

勤務年数によって参加できる研修は決まっているのか。

○事務局

勤務年数の決まりはない。コロナ禍以降はオンラインでの開催も増えてきている。

○委員

行政課題研修はどういったものをテーマにしているか。

○事務局

令和5年度は空き家の利活用と地域おこし協力隊の活用モデルの研究として、三重県南伊勢町及び尾鷲市へ、窓口の効率化を行っている先進自治体の視察として、埼玉県深谷市及び長野県伊那市へ、農村型地域運営組織による地域作りと歴史的建造物や伝統文化を生かしたインバウンド観光の先進地視察として、長野県上田市及び岐阜県高山市に行っている。

○委員

報告会は行っているのか。

○事務局

今は行っていないが、レポートを作成してもらい、全庁的に見ることができるようにしている。

○委員

研修成果を行政に生かすには報告会を行った方がよいのではないか。場合によっては市長を交えて行うのもよいかと思う。研修をしたという満足感だけで終わってしまってもいけない。

○事務局

コロナ禍以降、報告会はなくなってしまうていたが、今後行うかは検討したい。

○委員

テーマに関係した部署が研修に行くのか。

○事務局

業務の課題からテーマを決めて先進地を視察し、業務の参考としている。

○委員

行政課題研修は課題解決のための研修のようなので、「人材育成」に観点を置くと、方向性が異なるように思える。コミュニケーション能力の育成等、足りない部分を補うようにするのが「人材育成」だと思うが、そういった部分での取組はあるのか。

○事務局

行政課題研修は「人材育成」とはまた違った意味での能力開発のための研修であり、「人材育成」という観点では、自治研修センターで行われる在職年数や職級ごとの研修や、外部委託による庁内の研修などを行っている。

No.2「組織・業務体制の見直し」について質疑応答

○委員

「多様な人材」とはどのような人材を想定しているのか。

○事務局

事務処理能力だけでなく、開発力や発言力、コミュニケーション能力等に優れた人材を想定している。

○委員

病休で休んでいる職員はおよそ何人いるか。

○事務局

精神的な理由で長期間休んでおり、無給となってしまった人だと3名いる。そのうち2名は今月から試行期間であるが復帰している。身体的な理由では2名いる。

○委員

そういった場合の臨時的な職員配置の状況はどうなっているか。

○事務局

診断書（精神）だと1～2ヶ月単位の休みの予定となることが多く、さらに延長することもあることから期間が定まらないため、職員を配置しにくいのが、必要に応じて会計年度任用職員を雇用するなどの対応をしている。

No.3「業務の効率化」について質疑応答

特になし

No.4「DXの推進」について質疑応答

○委員

全体の申請のうち、電子申請はどのくらいの割合か。

○事務局

手元に資料がないため、担当課に確認し、次回までに資料を準備する。

○委員

電子申請を導入することにより、投資した分に対してどれくらい効率化できたのか、今後効果が見えてくるとよいかと思う。

○事務局

少しずつではあるが電子化が進んでいるので、今後もその効果を示していきたいと考えている。

No.5「他の機関と連携した行政運営」について質疑応答

○委員

複合施設のワークショップではどんな機関と連携しているのか。

○事務局

ワークショップでは他機関との連携というよりは市民協働という点で市民の意見を取り入れる場としており、今後、複合施設が建設される際には、他機関と連携していくことを検討している。

○委員

複合施設とはどのような機能を持った施設となる予定なのか。

○事務局

公民館や保健センターなどの機能が集約された施設となる予定。

○委員

現在の中央公民館は民間委託しているのか。

○事務局

中央公民館は直営で、正規職員も3名配置されている。

No.6「情報発信・広聴手段の充実」について質疑応答

○委員

白河市のLINEは立ち上げてから何年ほど経過しているのか。

○事務局

およそ2年が経過している。

○委員

LINE登録の周知方法はどのようにして行っているか。

○事務局

ホームページや広報紙で周知を行っている。

○委員

市民ニーズの把握のためにどのようなことを行っているか。

○事務局

アンケートの他、ホームページのアクセス状況の解析などを行っている。

No.7「行政評価制度の推進」について質疑応答

○委員

「補助金の見直し」とは具体的にはどのようなことを行っているのか。

○事務局

予算編成時や事業の事後評価の際に見直しを行っている。

No.8「施設経営の強化」について質疑応答

○委員

五箇中学校の廃校後の利活用について予定はあるのか。

○事務局

今後の利活用については今のところ予定はないため、検討している状況。

○委員

削減することだけを目標にするのではなく、施設の有効活用を考えてほしい。五箇中学校のことに関しても、難しいかもしれないが、廃校後の利活用まで考えられている方がよいかと思う。

他に直近で統廃合の予定はあるか。

○事務局

中央公民館が建設予定の複合施設に統合される予定がある。

○委員

武道館は引き続き使用する予定か。

○事務局

引き続き使用する予定。

No.9「財政の健全化」について質疑応答

○委員

経常収支比率が5%悪化しているが、どういった要因が考えられる

か。徴収率が下がっているため、その影響か。

○事務局

徴収率の減少も要因の一つと考えられる。また、資料がないのでわからないが、人件費等の歳出増加なども考えられる。

○委員

ふるさと納税についてはどの程度効果があると考えられるか。

○事務局

ふるさと納税は経常収支比率に含まれない臨時的な収入に該当するものと思われるが、担当課に確認する。

○委員

使用料等の収納率はどうなっているか。

○事務局

手元に資料はないが、保育料や水道料など、未納があり回収できていないものはあると思われる。

○委員

水道料等について、半年～1年以上の長期にわたって滞納している事例もあるのか。

○事務局

水道料の他、市営住宅などでそういった長期間にわたる滞納はあると思われる。

その他全体を通して質疑応答

○委員

昨年 of 新聞記事で終活支援事業の特集があり、全国の自治体でエンディングノートを始めとした取組を行っているといった。白河市でもそういった取組があるのか、後ほど教えてほしい。

○委員

一人暮らしの高齢者が多く、隣近所との関わりも少なくなっているため、亡くなってもわからないことがある。

○事務局

高齢福祉課で希望者のみではあるが、定期的に電話をする事業を行っている。終活支援事業関係については次回までに担当課に確認する。

(3) その他

・ 次回のスケジュール及び議題について事務局より説明

	4 閉 会
--	-------